

坪井 剛 議員



- (議案質疑)
- 1 スマートシティ構築ト  
ライアル事業について
  - 2 西条市子育て交流セン  
ター設置及び管理条例に  
ついて
- (一般質問)
- 1 人口減少時代を見据え  
た業務改善について

答

市内在住の高齢者10名と市外在住の家族とのSNSを通じたコミュニケーションツールとして、①見守り②コミュニケーション③音声リクエストの3機能を備えたロボットを活用し、独り暮らしの不安を解消するとともに、寂しさを和らげ、安全・安心な生活の確保を目的とする実証実験を行った。

その結果、離れて暮らす家族の様子が分かり、独り暮らしの不安の解消や安全・安心な生活の確保につながったほか、家族間のコミュニケーションが増え、お互いが楽しさを実感することや健康維持にも役立つことが期待できるところから、高齢者の見守りに有効なものとして評価している。

**問** 急速に進む高齢社会に  
おいて、高齢者と市外  
在住の家族とのつながりを支  
援するコミュニケーションツ  
ールとして、ロボットを活用  
した高齢者へのゆるやかな見  
守り支援システムを構築する  
ための実証実験を、平成30年  
7月から9月にかけて行った  
が、本事業をどのように評価  
しているのか。



見守りロボット「パペロアイ」

白坂 均 議員



- (一般質問)
- 1 米政策について
  - 2 災害に備えた給水体制  
の構築について

いざというときのために  
安全・安心な水の供給を！

**問** 災害時の断水に備え、  
給水車の導入や給水タ  
ンクの増加を検討すべきでは  
ないか。また、手押しポン  
プを備えた防災井戸が市内に49  
基あるが、丹原地区と小松地  
区には設置されていない。市  
内全域でひとしく水の恩恵を  
受けられるよう体制を整える  
必要があるのではないか。

**答** 全市民の7日分に当た  
る飲み水を緊急遮断弁  
整備済みの配水池に確保して  
おり、災害時には小型動力ポ  
ンプ付水槽車や給水タンク、

ポリ容器により供給すること  
としている。加えて、公益社  
団法人日本水道協会を通じて  
全国の水道事業者から給水車  
による支援が受けられる体制  
にあることから、給水車の導  
入は予定していない。今後も、  
給水タンクの保有数を増やし、  
災害への対応力を高めたい。  
また、丹原地区と小松地区  
の指定避難所には、手押しポ  
ンプによる揚水が可能な場所  
がなく、防災井戸を設置でき  
ていない。これらの地域につ  
いては、小型動力ポンプ付水  
槽車による給水に加えて、災  
害時応援協定の締結先や公益  
社団法人日本水道協会の加入  
自治体、自衛隊などの防災機  
関から協力を得ることで、迅  
速な給水体制の確保を図りた  
い。



小型動力ポンプ付水槽車

井上 浩二 議員



- (一般質問)
- 1 保健福祉部が所管する  
公衆浴場について

地域交流センターなどの  
浴場の在り方の再検討を

**問** 地域交流センターなど、  
保健福祉部が所管する  
市内8か所の公衆浴場につ  
いて、経年劣化に伴う施設の維  
持管理や改修をどのように計  
画しているのか。

また、今後見込まれる維持  
管理費の増加や限られた財  
源・人手の中で、安全に管理  
運営していくことの難しさを  
考慮し、今後の公衆浴場の在  
り方について再検討すべきと  
考えるが、全体の高齢者福祉  
の充実のため、施策への転換  
も視野に65歳以上の高齢者に  
アンケート調査を実施しては  
どうか。